TOPICS

カナダ政府、鉄道運賃を改定
輸送網整備で経済活性化も狙う

カナダ政府は、二月一日、八六年前に制定されたカナダ西部における穀物輸送の法定料金（クロウ・レート）を改定するとともに、鉄道輸送能力を増強し、穀物輸送システムを整備して、西部の農・産業発展と経済再活性化を図るという、一連の政策を発表した。

クロウ・レートは、一八九七年に連邦政府とカナダ太平洋鉄道（CPR）の間で交わされた協定にもとづく運賃。この協定により、CPRは、ロッキー山脈のクロウズ・ネスト峠における支線工事に対して政府助成を受ける代わりに、東部カナダから大平原向けの一定の商品および西部から東部向けの穀物について、運賃を引き下げた。西部カナダの農民は、これによって比較的安い料金で穀物を世界市場へ輸出することができた。（クロウ・レートはのちに、バンクーバー港など、西部の港に送られる穀物にも適用されるようになった。）

しかし、八十数年前の料金が今日までそのまま据え置かれたため、鉄道会社や政府にとっては大きな負担になっていた。今度の改定は、一年間におよぶ農業団体および鉄道会社との話し合いにもとづくもので、これによって穀物運賃は一九八五年度までに、現行のほぼ二倍に引き上げられることになった。値上げ分は、穀物生産者がすべて吸収できるか、あるいは対日輸出価格などにも影響がでてくるか、今のところまだ分からない。

輸送網整備計画は、連邦政府が今後四年間に総額三十七億ドルを支出して、西部カナダの鉄道網の増設、複線化、トンネル工事などを行うというもの。輸送網整備によって、穀物、木材、石炭、塩化カリなどの外国向け輸送能力が高まるのはもちろん、雇用および投資の増大を促進して、西部地域だけでなくカナダ全体の経済を再活性化するものと期待されている。

世界最大のエアドーム競技場
バンクーバーで七月オープン

一九八六年に世界博覧会（エキスポ86）が開かれるバンクーバーに、世界最大のエアドーム（空気膜構造の屋根）をかぶせた全天候型競技場が登場した（写真）。

高さ六十メートルの屋根は、ガラス繊維製の袋を空気でふくらませたもので、面積は四万平米もある。ドーム内の空気は、競技場内のコンピューターで調節される。

今年六月末までに観客席（六万）などの取り付け作業が終わり、七月一日にオープンすると、早速サッカーの北米選手権大会やカナダ・フットボール・リーグ戦が予定されている。

日加姉妹都市（日本側）会議
交流の進め方で活発な討論

日加間の市民レベルの交流と理解を深めるにはどうしたらいいか――カナダの都市や州と姉妹縁組をしている日本各地の地方公共団体および友好団体の代表が、二月二十四、二十五の二日間にわたって活発に討論した。

カナダ大使館と日加協会が共催したこの「日加姉妹都市会議」（場所・全国都市会館）には、北は北海道の名寄市から南は長崎県小浜町までの二十二市町区およびアルバータ州と姉妹提携している北海道の代表四十二人、日加協会、関西日加協会、秋田カナダ友好協会、北陸カナダ協会、そして国際親善都市連盟などの代表十二人が出席、それぞれの交流事業の現況や今後の進め方について説明し、また意見を交わした。

各代表の報告や意見は、人物交流や教育交流などの現状から、ホームステイの進め方などに至るまで多岐にわたり、出席者たちは「今後の参考になった」と口々に話していた。今後は、相互間の連絡を密にしていくことで、意見が一致した。

（パーソナル・ハラスメント）
〝個人的迷惑〟の防止基準
連邦政府が公務員に実施

職場で他の従業員の迷惑になる振舞は慎しんで下さい――カナダ政府はこのほど、連邦公務員に対してこのような〝お触れ〟を出した。

ジュディ・エローラ女性の地位担当国務大臣が発表した「個人的迷惑防止政策」のガイドラインによると、対象となるのは特定の従業員に対する不愉快な行為やその人の仕事を邪魔し、生活を脅かすといった〝個人的迷惑行為〟と、意図的で不愉快な性的言動という〝性的迷惑行為〟の二つ。

各省庁はそれぞれ担当官をおいて、迷惑を受けた従業員から訴えを聞き、適切な措置を講じることになっている。上司や担当官の措置に不服な人は、パブリック・サービス・コミッション（日本の人事院に相当）の差別防止局やカナダ人権委員会に訴えることができる。

日本へ液化天然ガス（LNG）
国家エネルギー委員会が認可

カナダから初めて、日本に液化天然ガス（LNG）が輸出されることがほぼ決まった。

カナダのドーム・ペトロリアム社（本社カルガリー）は、日商岩井と共同で、アルバータ、ブリティッシュ・コロンビア両州で産出する天然ガスを液化し、二十年間にわたり合計三・一エクサジュール（熱量単位。およそ五、八〇〇万メートル・トンに相当）を日本に輸出するプロジェクトを進めていたが、一月末、国家エネルギー委員会（NEB）から一九八六―二〇〇一年の十五年間に二・四エクサジュール（四、四〇〇万トン）を輸出する認可がおりた。あとは、連邦政府やアルバータ、ブリティッシュ・コロンビア両州の承認を待つのみ。

カナダから輸出されたLNGは、中部、中国、九州の三電力会社と大阪、東邦の二ガス会社に供給されることになっている。LNGは、天然ガスを主成分メタンの沸点（摂氏零下一六二度）以下に現地で冷却したもので、容積は天然ガスの五八〇分の一になる。これをLNGタンカーで輸送して、使用地で加温し、再びガス化して用いるわけ